

館長のガラストーク



佐野曜子「Spring Bowl」

「日本のガラス工芸」展は9月27日で終了しますので、今回の佐野曜子さんの作品紹介が最後になります。

佐野さんは企業に勤めているときにガラスに魅せられ、国内やオーストラリアでガラスの技術を学び、ガラス作家である夫の猛さんとともに富山市に工房を立ち上げて制作活動に入りました。

作品の特徴は、さまざまな色を持つ器の表面に細い縦縞のカットを加えて、ちょうど経糸（たていと）と緯糸（よこいと）を織り上げた織物のような柔らかな風合いを生み出しているところにあります。

器の色は、円筒形に吹いたガラスを輪切りにし、そのパーツを電気炉の中で加熱してモザイクのようにくっつけ、吹き竿の先で形を整えたもの。薄いレンガ色から白、そして深い緑色に移行していく色彩のグラデーションは、佐野さんが住んでいる富山市から眺望する立山連峰の早春の景色—山肌に残る残雪とそこから芽生えた力強い植物の生命を暗示しているようです。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

○9月の「館長のギャラリートーク」は、9月12日(日)に開催いたします。
午前11時と午後2時からの1日2回で、40分程度のプログラムとなります。
定員は10名程度で予約制となりますので、お早めにお申し込みください。

9月29日(水)から下期企画展「～光と色彩のイリュージョン～ 石井康治ガラスアート展」を開催いたします。来月号では下期企画展の作品などをご紹介します。

妖精の森ガラス美術館 TEL 0868-44-7888

家庭ごみを削減しましょう

家庭からは、毎日多くのごみが出されています。重さに占める割合では、生ごみ、紙類、容器包装廃棄物がその大半です。
家庭から出るこれらのごみを積極的に減らしましょう。

☆「生ごみ」を減らすためのワンポイントアドバイス！

- ・食べ残しをしないように、料理を作る量を調整しましょう。
- ・野菜や果物の皮をむくときには薄くむきましょう。
- ・生ごみが出た際は、コンポスト（堆肥）にするなど、有効利用するよう心がけましょう。
- ・生ごみを捨てる際には、天日で乾かしたりしぼるなどしたりして、水分を飛ばしましょう。

☆「紙類」を減らすためのワンポイントアドバイス！

- ・チラシの裏などを有効利用することで、紙は減ります。
- ・ノートなどは最後まで使い切りましょう。
- ・紙類は資源回収に出しましょう。

これらは、
ごみを減らすための
一例です。

☆「容器包装廃棄物」を減らすためのワンポイントアドバイス！

- ・マイバッグで買い出し、レジ袋の受け取りを断るようにしましょう。
- ・過剰包装を断りましょう。
- ・トレーやパックはきちんと洗ってリサイクルしましょう。
- ・詰め替え商品を購入しましょう。

◎必ず地域のルールを守って、ごみ出しを行ってください。

お問い合わせ先 町民環境課 河中 TEL 0868-54-2984